

一 単元名 『レオⅡレオニ』げきじょう」をひらこう

二 学習材名 中心学習材「スイミー」（光村図書 一年上） 他レオⅡレオニ作品

三 単元について

(1) 第一学年及び第二学年の「C読むこと」の指導目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。この目標に迫るためには、場面の様子を想像しながら読む力、語や文としてのまとまりや内容、響きなどについて考えながら声に出して読む力、易しい読み物に興味をもって楽しんで読書しようとする態度を育成していくことが大切である。

これまで子どもたちは、一年生のときに「はなのみち」「くじらぐも」「ずうつと、ずつと、大すきたよ」などの学習において、挿絵と叙述を照応させながら場面の様子などについて、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む学習を行ってきた。また、「ずうつと、ずつと、大すきたよ」「たぬきの糸車」などの学習では、友達が紹介してくれた本を興味をもって読むことや、不思議だな、おもしろかったなどの感想をもちながら読むことを学習してきた。また、自分が気に入った本を①題名、②登場人物、③作者名、④出来事、⑤いちばん好きなところの五つの観点に沿ってまとめ、みんなの前で音読したり、好きな場面を見せたりしながら紹介する、という学習を行ってきた。本年度は、「音読しよう」「ふきのとう」において、場面の様子を想像しながら音読したり、登場人物の行動を動作化したりしながら読み取る学習を行ってきた。このような学習を通して、挿絵や叙述をもとにして場面の様子や登場人物の行動を想像しながら読んだり、友達から紹介されたお話について興味をもちながら、楽しんで読書をしたりすることができるようになってきている。今後は、さらに、好きな場面について登場人物の行動に着目し場面の様子を想像して読むなど、子どもにとって必要な読む能力を主体的な学習活動によって身に付けることができるような学習展開を行うとともに、読んだことを交流したり、目的に応じて読んだりする学習活動を充実させる中で、楽しんで読書しようとする態度を一層育てていく必要があると考える。

(2) 本単元『レオⅡレオニ』げきじょう」をひらこうでは、自分がお薦めしたい作品について、物語の中のお気に入りの場面を選んで、場面の様子を登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み、そのおもしろさをペープサートを演じて紹介することをねらいとしている。

中心学習材「スイミー」は、楽しく、ファンタジックで、ドラマティックな物語である。場面の様子や経過、人物同士のかわりなどが、色彩豊かな挿絵と体言止め、省略、倒置、繰返し、比喩などの技法で豊かに表現された作品である。また、主な主人公であるスイミーや赤い魚たちは、子どもたちと同じ小さな弱い存在であるが、困難を乗り越え知恵と勇氣で自分の生き方に生かしていこうとする姿を子どもたち自身が身近にとらえ、自分と比べたり、なりきったりして読みを深め、読むおもしろさ、楽しさを感じることができる文学的文章である。

本単元では、レオⅡレオニ作品の中からお薦めしたい一冊を選び、お気に入りの場面をペープサートで演じて紹介するという言語活動を設定する。主な活動として、「物語の中のお気に入りの場面を見付けて読むこと。」「場面の様子や登場人物の気持ちを想像して吹き出しや動きを考えること。」「場面の状況をより分かりやすくするためにナレーションを考えること。」などを位置付ける。これらの活動を通して、①「お気に入りの場面を紹介するために、ペープサート劇で演じる」という学習の見通し（読む目的）を明確にし、登場人物の行動を中心に場面の様子を想像して読む力、②お気に入りの場面、心に残る場面を見付けて読む力、③実生活において読書を楽しむ力を培っていきたいと考えている。そこで、中心学習材を読む目的を他の作品紹介に生かすということを明確にしながら学習を進めていくことで、子どもたちは目的をもって文章を読むことができる。レオⅡレオニ作品に登場するそれぞれの主人公は、他とは違う自分の姿をありのままの姿を受け入れ、自分の持ち味を生かして友人を助けるような易しい性格の持ち主である。子どもたちの心をたがやす上でも、この時期に、多くのレオⅡレオニ作品と出合ってほしいと考える。よって、子どもたちの実態や今後身に付けなければならぬ力を養っていくことから、本学習材は適材であると考ええる。

(3) 指導にあたっては、次の点に留意していく。

一点目は、子どもたちに『レオⅡレオニ』げきじょう」をひらこうという学習のゴールと学習計画を示し、そのためにどのような学習を進めていけばよいのかを明確にすることで、子どもが学習の見通しと相

手意識・目的意識をしつかりともって主体的に学習を進めていくことができるようにする。単元の導入においては、レオ・レオニ作品の読み聞かせをするとともに、ペーパーサートを演じることで活動への見通しをもたせ、学習への意欲を高めた。

二点目は、身に付けさせたい力を明確にした指導過程の工夫についてである。本単元では、指導目標の確実な定着を図るため、場面の様子について登場人物の行動に着目して想像を広げて読むことを単元の一次、二次、三次を通して位置付ける。第二次においては、場面の様子や登場人物の気持ちにより豊かに想像することができるようにするために、ペーパーサートの吹き出しや動きを考えたり、ナレーションを考えたりする活動を行う。また、「ペーパーサートを演じる」ことを位置付けることで、身に付けた力を第三次の学習に生かすことができるようにする。

三点目は、振り返りの場の設定についてである。単元を通しての振り返りでは、自分が選んだ作品をペーパーサートを演じて紹介し合い、その感想をもとに振り返ることで、自分が身に付けた力について気付かせるとともに、学びの達成感を味わわせたい。また、毎時間の振り返りを蓄積し、それを単元の終わりに振り返らせることで、学びの過程を意識させ、次の学習への意欲へとつなげていきたい。

四点目は、子どもにとって、レオ・レオニの作品がより身近なものになるように、教室に「レオ・レオニ作品コーナー」を設置し、休み時間などに子どもが手にとって読むことができるようにする。並行読書と合わせてブックリストを活用しながら、自分が選んだ本以外にも興味をもたせるとともに、主体的な読書への意欲につなげていきたい。

四 指導目標

(1) 関心・意欲・態度

- 作品を楽しみながら読むとともに、レオ・レオニ作品に関心を持ち、お話の楽しさを進んで紹介している。

(2) 読むこと

- 場面の様子を登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み、物語の好きな場面を自分なりに表すことができる。

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- 音節と文字との関係や、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くことができる。

五 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度

- 物語の読み聞かせを聞いて、好きな場面を見付けたり、お話の楽しさを紹介したり楽しんだりしようとしている。

イ 読む能力

- 物語の好きな場面をペーパーサート劇で表すという目的をもって、登場人物の行動に気を付けて読み、場面の様子を想像しながら読んでいる。

- 好きなシリーズ作品を様々に読んで、紹介したい本や場面を選んでいる。

ウ 言語についての知識・理解・技能

- 同音の語でもアクセントによって意味が異なる場合があることに気付いて読んでいる。

六 単元の指導計画及び評価規準（十三時間扱い）

次	時	学習活動	評価規準と評価方法	未達成の場合の手立て
I	1	<ul style="list-style-type: none"> レオ・レオニ作品の読み聞かせを聞いたり、とペーパーサート劇を見たりして感想を話し合う。また、ペーパーサート劇のよさについて話し合い、そのよさに気付く。 ペーパーサートでお話のお気に入りの場面を一年生に紹介するという学習のめあてと見通しをもつ。 並行読書の進め方を知る。 (ブックリスト・読書カードの書き方)	ア 学習全体の見通しをもち、学習課題をつかんでいる。【学習ノート及び発表内容に基づいて評価する。】 ア 読み聞かせを聞いたり、ペーパーサート劇見たりして、ペーパーサートのよさに気付くとともに、レオ・レオニ作品に関心をもち、おもしろいと思ったところ、心に残ったところ等の観点で話している。【発表の様子と観察を基に加点的に評価する。】	<ul style="list-style-type: none"> おもしろいと思ったところ、好きなところ等、具体的な視点を与えながら、対話を通して取り上げる。 これまで行ってきた読書紹介を想起させ、単元を学習する目的を意識付ける。

『レオレオニ』げきじょう

(単元のゴール)

III			II												
1 3	1 2	1 1	1 0	9	8	7	6 時本 5	4	3	2					
<ul style="list-style-type: none"> 『レオレオニ』げきじょう」を開いて好きな作品を紹介し、感想を伝え合う。 学習の振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアグループになって、互いの動きを見合ってアドバイスをし合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面の様子や登場人物の行動に着目しながら想像を膨らませて読み、台詞やペープサートの動きを考える。 グループごとに吹き出しやペープサートの動きについて話し合い、ペープサート劇の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 並行読書を進めてきた「レオレオニ」作品の中から紹介したい物語を選ぶ。 物語の内容の大体についてとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに、好きな場面のペープサート劇を演じ、感想を伝え合う 	<ul style="list-style-type: none"> ④仲間のために一生懸命に考えるスイミーの気持ちを想像しながら吹き出しや動き、ナレーションを考える。 ⑤力を合わせて大きな魚を追い出したスイミーたちの気持ちを想像して読み、ペープサート劇を演じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ④仲間のために一生懸命に考えるスイミーの気持ちを想像しながら吹き出しや動き、ナレーションを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ③元気を取り戻していくスイミーの様子や気持ちを想像しながら吹き出しや動き、ナレーションを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ①スイミーの特徴と、兄弟達と楽しく暮らしている様子を想像する。 	<ul style="list-style-type: none"> ②一人ぼっちのスイミーの様子を想像しながら読み、吹き出しやペープサートの動きを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ③「スイミー」の挿絵を見たり音読をしたりして物語の内容の大体（登場人物、場面設定、出来事）についてとらえる。 物語の中の好きな場面について、選んだ根拠をはっきりさせながら発表し合う。 新出漢字の学習をする。 教材文の視写をする。 	<ul style="list-style-type: none"> イ「スイミー」を登場人物の行動に着目して読み、登場人物・場面設定・出来事についてとらえている。【ワークシートの記述内容に基づいて評価する】 イ「スイミー」を読んで、自分が好きな場面を発表している。【学習ノートに選んだ根拠を書くようにし、その記述内容に基づいて評価する】 	<ul style="list-style-type: none"> イ「スイミー」を登場人物の行動に着目して読み、登場人物・場面設定・出来事についてとらえている。【ワークシートの記述内容に基づいて評価する】 イ「スイミー」を登場人物の行動に着目しながら読み、自分の好きな場面を発表している。【学習ノートに選んだ根拠を書くようにし、その記述内容に基づいて評価する】 	<ul style="list-style-type: none"> イ「スイミー」を登場人物の行動に着目しながら読み、自分の好きな場面を発表している。【学習ノートに選んだ根拠を書くようにし、その記述内容に基づいて評価する】 イ「スイミー」を登場人物の行動に着目しながら読み、自分の好きな場面を発表している。【学習ノートに選んだ根拠を書くようにし、その記述内容に基づいて評価する】 	<ul style="list-style-type: none"> イ「スイミー」を登場人物の行動に着目しながら読み、自分の好きな場面を発表している。【学習ノートに選んだ根拠を書くようにし、その記述内容に基づいて評価する】 イ「スイミー」を登場人物の行動に着目しながら読み、自分の好きな場面を発表している。【学習ノートに選んだ根拠を書くようにし、その記述内容に基づいて評価する】 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵と言葉や文を結び付けて、対話を通して子どもの発言を取り上げまとめいくようにする
	<ul style="list-style-type: none"> ウ同音の語でもアクセントによって意味が異なる場合があることに気付いて読んでいる。【ワークシートに書かれたセリフの記述内容に基づいて評価する】 	<ul style="list-style-type: none"> イ物語を登場人物の行動や会話に着目しながら読み、自分の好きな場面を発表している。【学習ノートに選んだ根拠を書くようにし、その記述内容に基づいて評価する】 	<ul style="list-style-type: none"> イ読んできたシリーズ作品の中から紹介したい作品を選んでいる。【選んだ作品と読書カード及び学習ノートの記述を合わせて評価する】 	<ul style="list-style-type: none"> イ友達の記事を聞いて、友達の感じ方や考え方のよさについて話している。【学習ノート及び発表内容に基づいて評価する】 	<ul style="list-style-type: none"> イスイミーと小さな魚たちとの気持ちを想像しながら読んでいる。 イ大きな魚を追い出すまでの様子や追いついたときの様子を想像しながら読んでいる。 【学習ノートの記述内容及び発表内容に基づいて評価する】 	<ul style="list-style-type: none"> イ海の中の様子や元気を取り戻すスイミーの気持ちを想像しながら読んでいる。【ワークシート及び学習ノートの記述内容及び発表内容に基づいて評価する】 	<ul style="list-style-type: none"> イ場面の設定や登場人物の特徴をとたえるとともに、楽しく暮らしている様子を想像しながら読んでいる。 イ 出来事の様子や一人ぼっちになってしまったスイミーの気持ちを想像しながら読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> イ「スイミー」を自分で、自分が好きな場面を発表している。【学習ノートに選んだ根拠を書くようにし、その記述内容に基づいて評価する】 	<ul style="list-style-type: none"> イ「スイミー」を登場人物の行動に着目して読み、登場人物・場面設定・出来事についてとらえている。【ワークシートの記述内容に基づいて評価する】 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵と言葉や文を結び付けて、対話を通して子どもの発言を取り上げまとめいくようにする 					
<ul style="list-style-type: none"> 学習内容のポイントを振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 音読や動きについての工夫など、感想の視点を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> グループでの話し合いの中で、友達の考えでよいと思ったところなどを参考にさせる。 教師や友達の音読に合わせて動作化するよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 並行読書を進めている時に、子どもの感想を引き出したり、気付きを価値付けたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> おもしろかったところや、自分達の発表に取り入れたところなどの観点を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> スイミーの言動に着目させたり、挿絵や友達の発表を参考にさせたりして、出来事や気持ちを想像することができると示す。 	<ul style="list-style-type: none"> スイミーの言動に着目させたり、挿絵や友達の発表を参考にさせたりして、出来事や気持ちを想像することができると示す。 	<ul style="list-style-type: none"> スイミーの言動に着目させたり、挿絵や友達の発表を参考にさせたりして、出来事や気持ちを想像することができると示す。 	<ul style="list-style-type: none"> スイミーの言動に着目させたり、挿絵や友達の発表を参考にさせたりして、出来事や気持ちを想像することができると示す。 	<ul style="list-style-type: none"> スイミーの言動に着目させたり、挿絵や友達の発表を参考にさせたりして、出来事や気持ちを想像することができると示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵と言葉や文を結び付けて、対話を通して子どもの発言を取り上げまとめいくようにする 					

七 本時の指導

(1) 本時のねらい

- ・ 場面の様子について、スイミーの様子を中心に想像を広げることがで

【本時にかかわる既習の内容】

- ・ 今年度・場面の様子を想像しながら読んだり、登場人物の行動を動作化したりしながら読み取る。
- ・ 前時・「スイミー」の特徴について叙述をもとに読み取る。兄弟たちと楽しく暮らしているスイミーの様子を想像しながら読む。

学習活動と学習内容	時	指導上の留意点（◇個への支援）
<p>1 前時の学習内容の振り返りをする。</p> <p>2 本時の学習のめあてをつかむ。</p>	1	<p>○ 単元全体の学習の中における本時の位置付けから本時が好きな場面のペープサート劇につながることを確かめ、学習の目的を確認する。</p>
<p>3 学習の見通しをもつ。</p> <p>4 学習のめあてに沿って考える。</p> <p>(1) 本時の学習範囲を音読する。</p> <p>(2) スイミーの様子を想像する。</p> <p>○ 場面の状況を表す叙述からまぐろに襲われた状況を想像する。</p> <p>おなかをすかせて</p> <p>すこいはやさで</p> <p>ミサイルみたいに つつこんできた</p> <p>一ぴきのこらずのみこんだ</p> <p>(3) スイミーの気持ちを吹き出しに表す。</p> <p>○ 登場人物の吹き出しの表し方</p> <p>○ 登場人物の様子の動作化と言語化</p> <p>(4) 考えた吹き出しとペープサートの動きについて。ペアでアドバイスし合いながら練習する。</p> <p>○ 吹き出しや動きのよさ</p> <p>(5) 場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながらペープサートで演じる。</p>	2	<p>○ 本時の学習における最終的な姿を子どもにつかませ課題意識をもたせるとともに、振り返りに生かすことができるようにする。</p> <p>○ ペープサートの動きと叙述とを結び付けて、まぐろの恐ろしさや、兄弟達が飲み込まれたこと、スイミーは逃げるのに必死だったことなど、場面の状況をつかむことができるようにする。</p>
<p>(3) スイミーの気持ちを吹き出しに表す。</p> <p>○ 登場人物の吹き出しの表し方</p> <p>○ 登場人物の様子の動作化と言語化</p> <p>(4) 考えた吹き出しとペープサートの動きについて。ペアでアドバイスし合いながら練習する。</p> <p>○ 吹き出しや動きのよさ</p> <p>(5) 場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながらペープサートで演じる。</p>	1 1 1 3 6	<p>○ スイミーの行動や心情を表す言葉から、場面の様子や気持ちについて想像を膨らませながら言葉を補ってワークシート「スイミーなりきりカード」に書くようにする。</p> <p>○ ペア学習では、演技手と聞き手に分かれて、互いの動きや吹き出しについて感想を話したり、質問したりしながら、吹き出しの内容を膨らませたり、動きの工夫につなげることができるようになる。</p> <p>○ いくつかのペアを取り上げて、吹き出しの表し方の工夫や動きについて交流し合い、課題に照らし合わせながら全体で学び合うことができるようにする。</p>
<p>5 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の課題について ・ 友達の考えのよさについて <p>(2) 振り返りについて交流する。</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次時の学習内容を知る。 	4 1	<p>○ 本時の場面について、ペープサートで演じることで、場面の様子について確かめるとともに、ペープサート劇のやり方を知ることができるようにする。</p> <p>○ 振り返りでは、「一人ぼっちのスイミーの気持ちを想像して吹き出しやペープサートの動きを考えることができたか」「交流を通して、友達の考えのよさに気付くことができたか」など、学習してきた内容を基に視点をもって書くことができるようにする。</p> <p>○ 学習計画表をもとに、次時の学習内容を確認、学習の見通しをもたせる。</p>
<p>【次時の学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 元氣を取り戻していくスイミーの様子や気持ちを想像する。 		

（評価）

- ・ 場面の様子や心情を表す叙述から、一人ぼっちのスイミーの気持ちを想像している。

【ワークシートへの記述内容や発言から評価する】